

防災無線デジタル電光表示局を設置！

杉並区では、桃井原っぱ公園に防災行政無線設備で放送される内容を電光表示板で表示できる、「防災無線デジタル電光表示局」を設置しました。この桃井原っぱ公園は、広域避難場所に指定されており、災害時に避難してきた人に対し、文字で表示することにより一斉に災害情報を伝達できるようになりました。

また、公園利用者などに対し、光化学スモッグ注意報等の注意喚起情報を表示することにより、健康被害を軽減できる効果も期待されています。

災害の発生時に、まず必要なものは正しい情報です。正しい情報があつてこそ、次の行動が可能になります。その情報発信の大きな役目を果たしてきたのが、昭和56年1月に整備・開局した防災行政無線です。開局当初から、大きな効果があり、まちの安全・安心に役立ってきました。しかし、大規模災害による延焼火災や公共交通機関が運行を停止した場合に対応するため、広域避難場所や帰宅困難者が滞留する場所では、音声による情報提供に加え、新たな手段を取り入れることが必要となっています。



そこで、この4月から、広域避難場所の桃井原っぱ公園に「防災無線デジタル表示局」を設置しました。この表示局は、防災行政無線から放送する内容を電光表示板で文字として表示するもので、多数の方に一斉に情報を伝達できる効果的な手段として期待されます。また、防災無線の子局に電子表示板を設置しているのでインターネット回線がパンク（途絶・輻輳）状態となっても情報を提供することが可能となります。

◆原因別防災行政無線放送回数◆

防災行政無線は、災害時のものと思われがちですが、光化学スモッグ注意報や大雨警報等の情報など、年平均では20回程度の放送が行われています。こうした放送も音声に加え、文字としても提供することで、より多くの方々が自分や家族の身を守ることにつながります。

| 項目 | 光化学スモッグ 注意報 | 大雨洪水警報等 | 訓練放送等 |
|------|----------------|---------|-------|
| 24年度 | 6回 | 1回 | 1回 |
| 25年度 | 14回 | 8回 | 2回 |
| 26年度 | 4回 | 7回 | 3回 |
| 27年度 | 22回 | 3回 | 2回 |
| 年平均 | 11回 | 4回 | 2回 |

こうした効果を期待して、JR荻窪駅前北口ロータリーと（仮称）新下高井戸公園の2カ所でも、28年度中に電光表示局の運用開始を予定しています。

【問い合わせ先】

危機管理室防災課：03-3312-2111 内線3605